

# 静岡市立川原小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和3年6月10日（木）

## 「縄文時代～弥生時代の人々の知恵や生活を想像できました。」



安倍川河口近くの小学校でした。縄文・弥生時代に入ったところなので、教科書や資料集で学んだことがある知識を、実物に触ったり使ったりすることで、当時の人々の知恵や暮らしを想像し、更に深めるために出前授業を希望してくださいました。初めに、全員で挨拶を交わし、センターの紹介をし、3つに分かれて体験を行いました。どの体験にも興味をもち意欲的に活動していました。今後の歴史の授業が更に楽しいものになることを願っています。

### ◎火起こし体験

梅雨時でしたが、よく晴れた日でしたので、なるべく日陰になるようなところを選んで行ないました。初めは恐る恐る弓を押していたので、リズムよく弾み車を回すことができずにいましたが、慣れてくると一人一人が弾み車をリズムよく回すことができるようになり、火種を作ることができました。時折風が強く吹き火種が飛んでしまうこともありましたが、火種を丁寧に火口にのせ、「フーフータイム」も頑張ってやったことで、火を起すことができ、うれしそうでした。



### ◎土器の分類体験

縄文・弥生・古墳時代の土器（須恵器）の違いについての話を聞いた後、静岡県内で出土した完成土器を手に取り、重さや質感、模様などをよく観察し、土器片と比べながら分類していました。縄文土器と弥生土器の違いは比較的わかりやすく、弥生土器と須恵器の違いはわかりにくかったです。



### ◎石器の試し切り体験

本物の打製石器や磨製石器を触って、表面の肌触りの違いを確認することで、古代の人の知恵を知ることができ、教科書や資料集で見た写真と似ていることを実感しました。今回は、ジャガイモを黒曜石で切る体験をしました。黒曜石が貴重な石であることを、地図上で神津島や長野県の和田峠の位置を確かめ納得していました。

